

【令和5年寄附講義視察報告】

令和5年度の柑芦会による寄附講義「現代経営実践論」で若手先輩による7つの講義が10月12日（木）から11月30日（木）まで行われます。

講義をご担当いただく講師の皆様には、こころから御礼申し上げます。

10月5日（木）は、柑芦会会長の北村 修一様（18期）によるガイダンスを行っていただきました。登録の受講生は35名ですが、本日は27名の受講でした。

インターンシップなどある学生や必修の履修科目と重なり、受講を断念された学生も多かったと聞いています。少数精鋭ですが、教室に入る時の元気な挨拶や講義中の目の輝きがあり、受講生の期待に応える講義にして行きたいと想います。

本日は13時10分から14時40分までのガイダンスで、和歌山大学経済学部同窓会「柑芦会」の歴史から現在の活動状況まで分かりやすく説明いただきました。



特に強調されていたのは、以下の3点です。

- (1) この講義では普遍的な「職業観の醸成」「職業選択の軸」を学んで頂きたい。
- (2) 自校に誇りを持ち、卒業後は母校と後輩のために貢献して下さい。
- (3) マンモス大学にはない強い絆と交流がある。



途中での箸休めトークも興味深く感じていたようです。講義後の受講生の感想には、

「柑芦会のことを詳しく知ることができた」「第1志望では無かったが、和歌山大学のことが一層好きになった」「凄い先輩方がいることを知り誇らしくなった」「プレゼンでの分かりやすい話し方を学べた」など、たいへん好評でした。

北村様、本当にありがとうございました。